

まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会  
(第2回委員会資料)

令和 6 年 5 月 2 8 日

奈良県 まちづくり推進局  
公園企画課

## 目次

### ■前回の振り返り

### ■整備コンセプト・整備方針（案）について

- (1) 子どもの遊び場等に関する現状整理
- (2) ニーズ調査結果
- (3) ニーズ調査結果の整理
- (4) 子どもの遊び場に関する課題
- (5) 課題に関する参考事例
- (6) 整備コンセプト
- (7) 整備方針

### ■今後の予定に関して前回頂いた意見に対する対応

## ■前回の振り返り

### ○主な意見・論点

- 1) まほろば健康パークにおけるインクルーシブのあり方を検討するには、この公園でやるべきことと、県全体でやるべきことの整理が前提となる。次回までに、事務局で、整理、方向付けを行うこと。
- 2) 休憩施設、通路、駐車場の必要性について、具体的な意見があったが、空間として収まるのか考えるべきところもあるので、次回、現地調査も含めながら議論を深めることとする。
- 3) 自然の要素をインクルーシブな遊びの中にどのように取り込んでいくのか、というところは、非常に大きなポイントとなる。
- 4) ハード整備によって、場を作るだけでは、日本の状況では、障害のある人もない人も共に活動することは、なかなか進まないところがある。交流を促進するために、直接的間接的な仕組みを作ることが必要となる。
- 5) まほろば健康パークにおいても、防災の視点を考慮することが、インクルーシブな公園のありように繋がってくるというのは、重要なポイントとなる。

# (1) 子どもの遊び場等に関する現状整理

□まほろば健康パークの利用圏域内における子どもに関係する公園施設等の整備状況

◆ 県、市・町、民間を含めると子どもが遊ぶ施設は一定数確保されている。

公園等管理者	子どもの遊びや運動に関する施設						
	①遊具		②広場 (多目的 or 芝生)	③屋内遊戯場	④ファミリー プール	⑤運動施設	
	未就学児	就学児				体育館	屋外
県管理の公園	×	○ 4箇所	○ 6箇所	×	△ 1箇所 (まほろば健康パーク)	○ 3箇所	○ 3箇所
市・町管理の公園 (街区公園除く)	○ 3箇所	○ 7箇所	○ 9箇所	△ 2箇所 (奈良市子どもセンター) (桜井市ひみっこぼーく)	△ 1箇所 (樫原運動公園)	△ 1箇所 (鴻ノ池運動公園)	○ 4箇所
参考 (民間)	○ 6箇所	○ 11箇所	△ 1箇所 (生駒山上遊園地)	○ 11箇所	×	○ 3箇所	×

○凡例  
 ○：3件以上  
 △：3件未満

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。  
 ※本調査は、公園企画課による調べ。

# (1) 子どもの遊び場等に関する現状整理

## □子どもの遊びや運動に関係する施設事例



○遊具(未就学児)(柏木公園(奈良県))



○遊具(就学児)(まほろば健康パーク公園(奈良県))



○屋内遊戯場(ラウンドワン(左)ニンジャパーク(右)(奈良県))

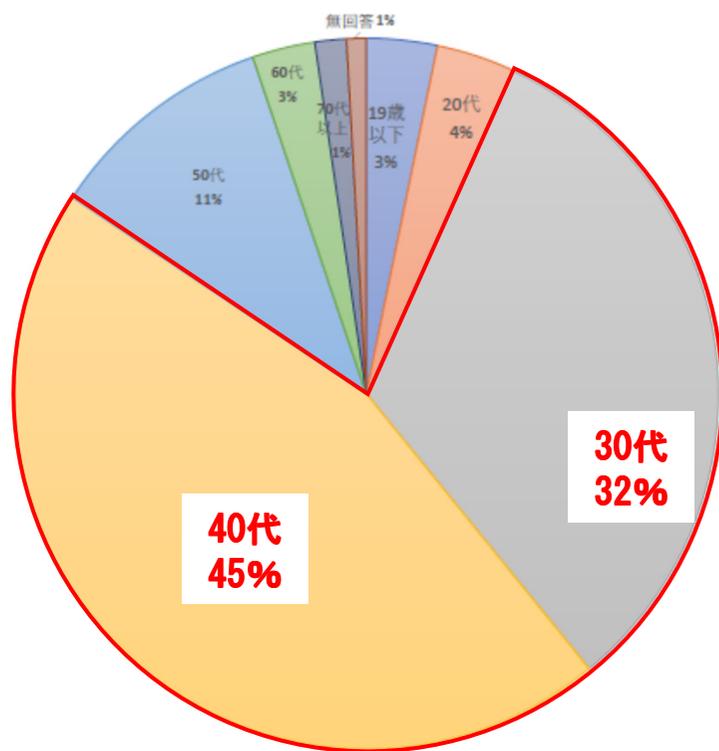
出典:ラウンドワンホームページ(左)、ニンジャパークホームページ(右)

## (2) ニーズ調査結果

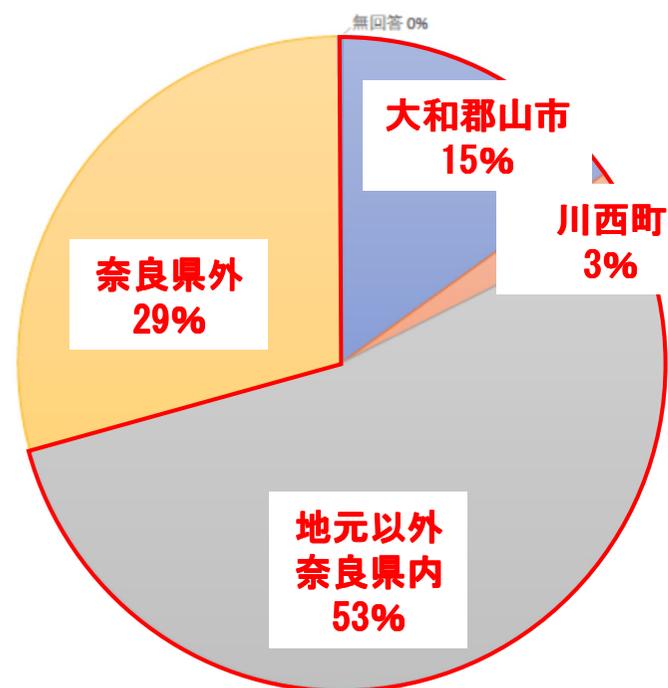
### □アンケート結果

- ◆ 令和5年8月3～6日（平日、土日それぞれ2日間）にまほろば健康パークファミリープール利用者を対象にアンケート調査を実施した。（回答数555人）
- ◆ 年齢層は30と40代が約8割であり、お住まいは「奈良県内」が約7割となった。

年齢層



お住まい地域



## (2) ニーズ調査結果

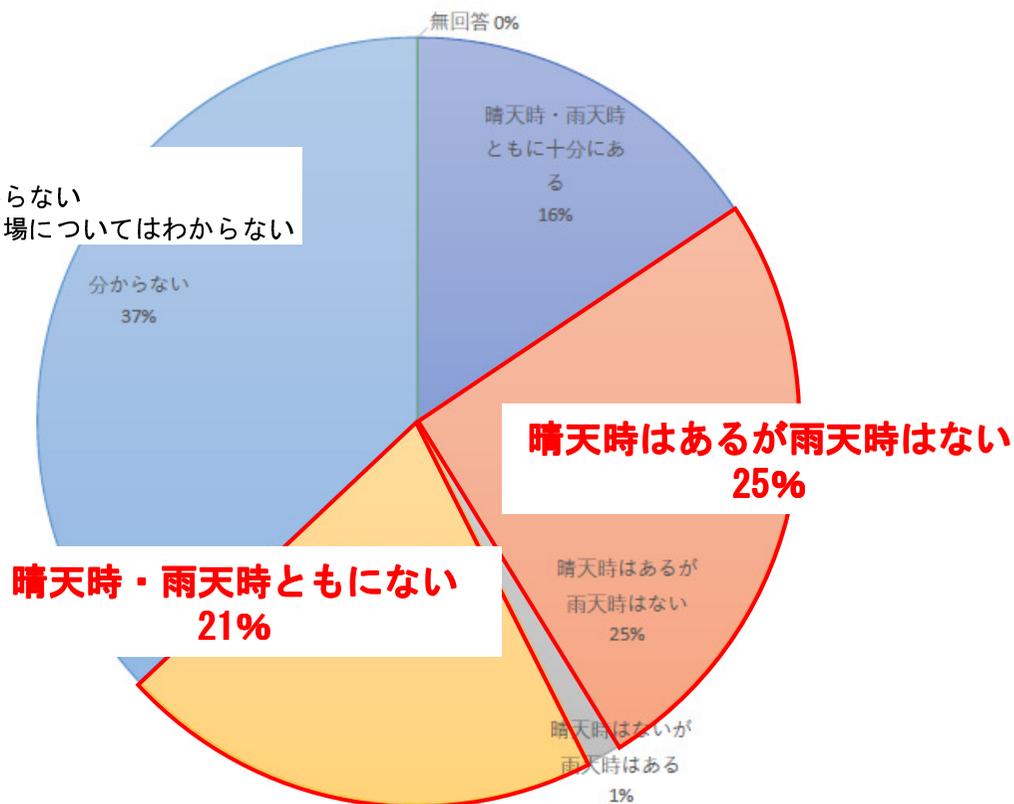
### □アンケート結果

◆ 県内の子どもを遊ばせる場所が「晴天時はあるが雨天時はない」と「晴天時・雨天時ともない」が約5割であり、雨天時に遊べる施設に対するニーズが高い。

子どもを遊ばせる場所

※主な意見

- ・奈良県県外に住んでいるためわからない
- ・孫を連れてきたので子どもの遊び場についてはわからない

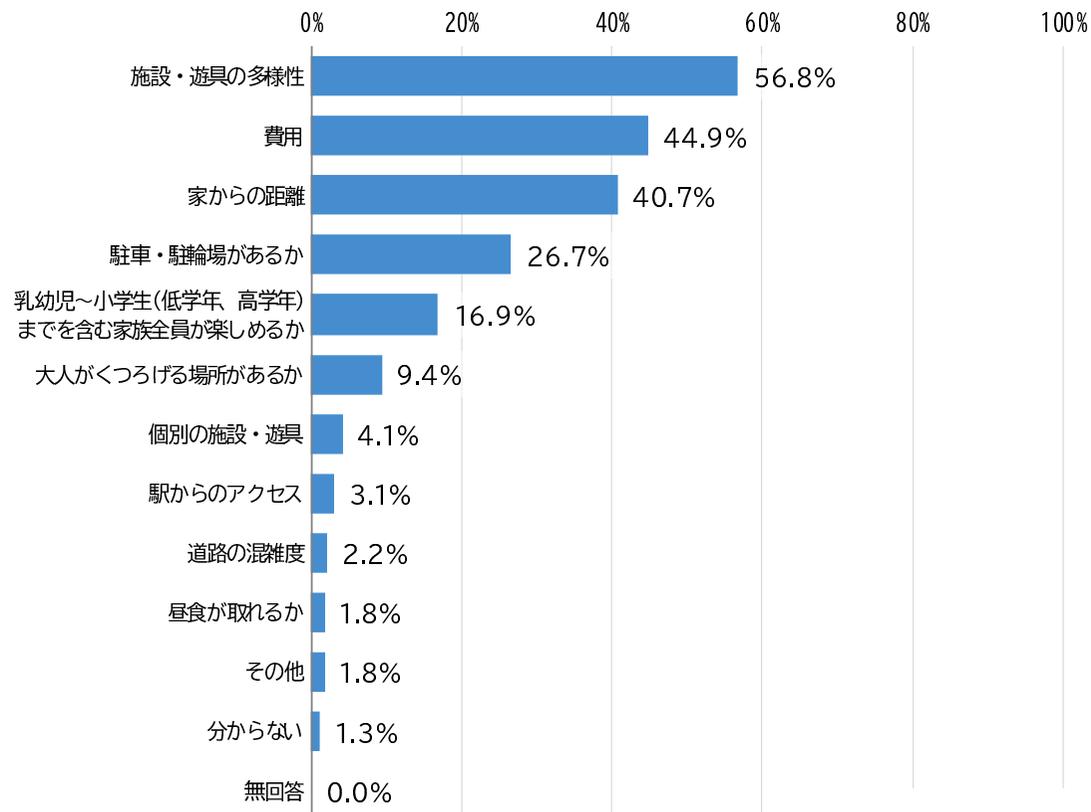


## (2) ニーズ調査結果

### □アンケート結果

- ◆ 施設・遊具の整備に関しては、「個別の施設・遊具」ではなく、「施設・遊具の多様性」を重視している。
- ◆ 「費用」と「家からの距離」や「駐車・駐輪場があるか」といった、アクセスの良さを、次に重視している。
- ◆ 「乳幼児～小学生（低学年、高学年）」、「大人がくつろげる場所があるか」といった、大人も含めた家族全員が楽しめるかといった点も重視している。

子どもと公園等に出かける際に重視している点

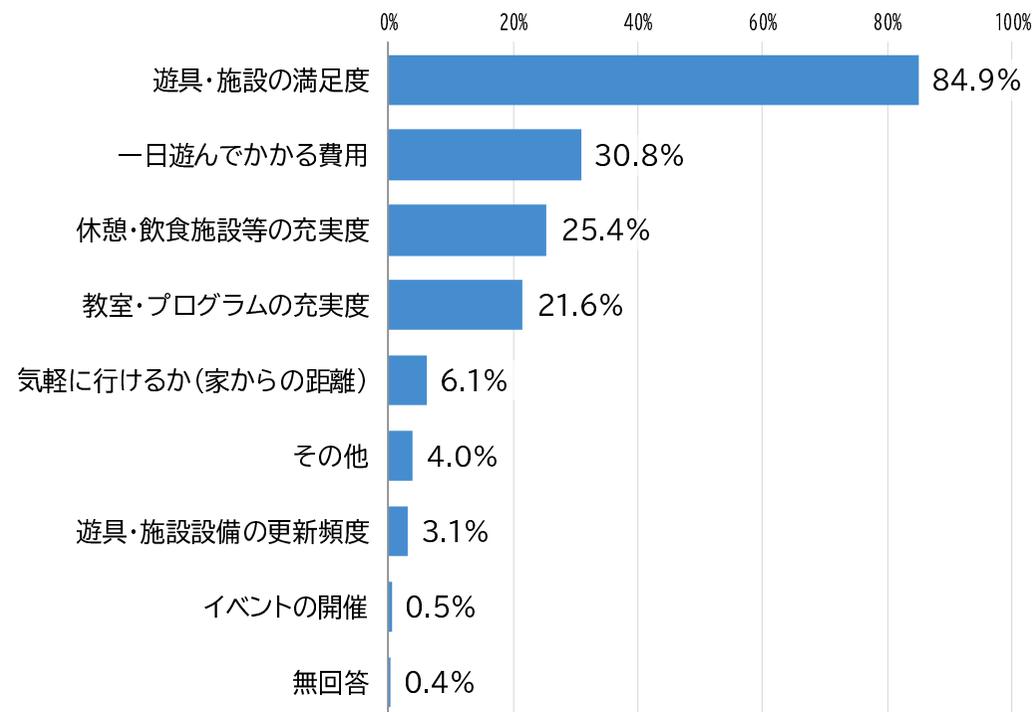


## (2) ニーズ調査結果

### □アンケート結果

- ◆ 「一日遊んでかかる費用」より、「遊具・施設の満足度」を重視している。
- ◆ 「休憩・飲食施設等の充実度」も重視している。
- ◆ 「教室・プログラムの充実度」も重視している。

公園等に再び訪れる際に重視する点

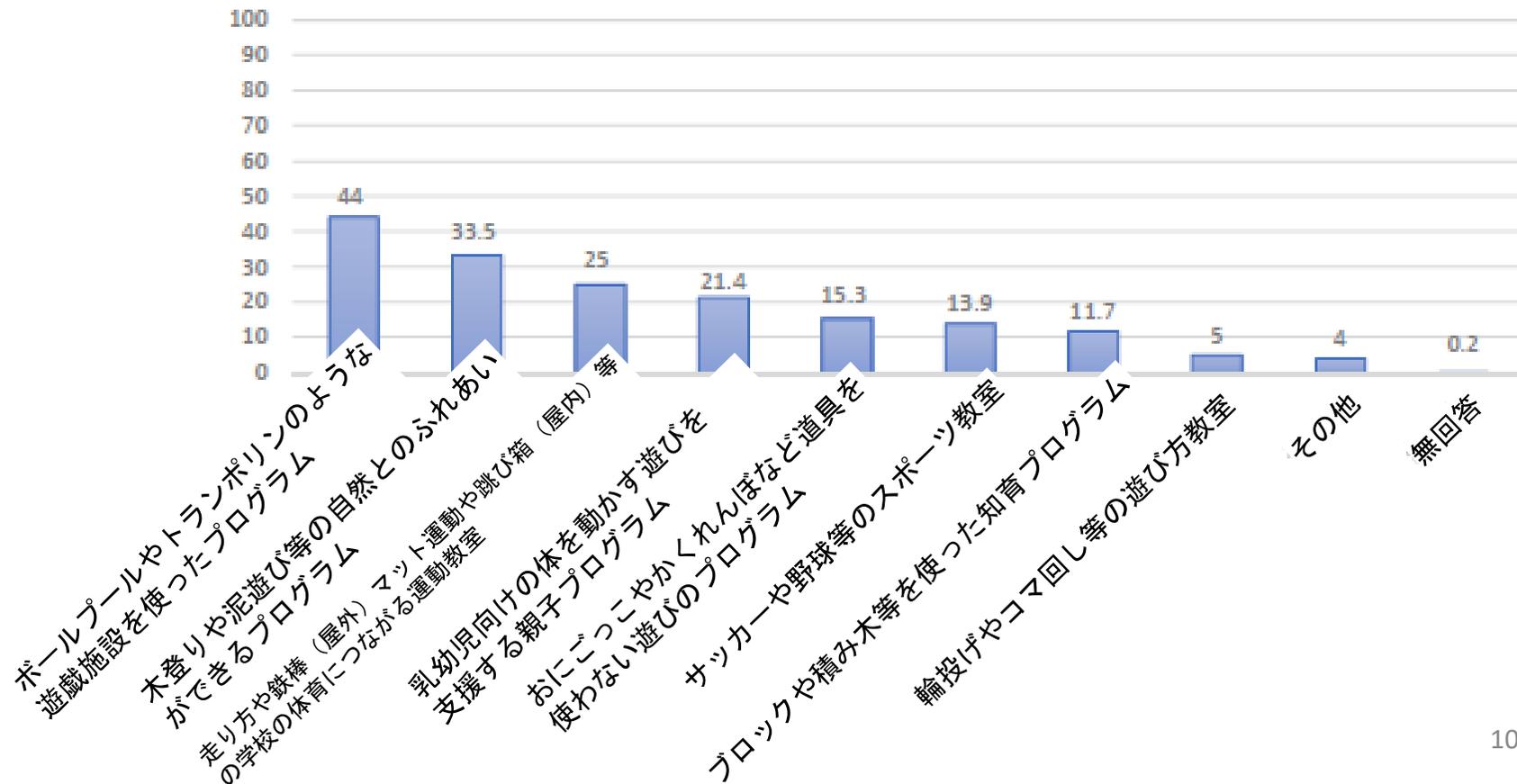


## (2) ニーズ調査結果

### □アンケート結果

- ◆ 施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関する教室・プログラムに対してニーズがある。
- ◆ 木登りや泥遊び等、自然とふれあえるプログラムに対しても、高いニーズがある。

### 教室・プログラムに対するニーズ

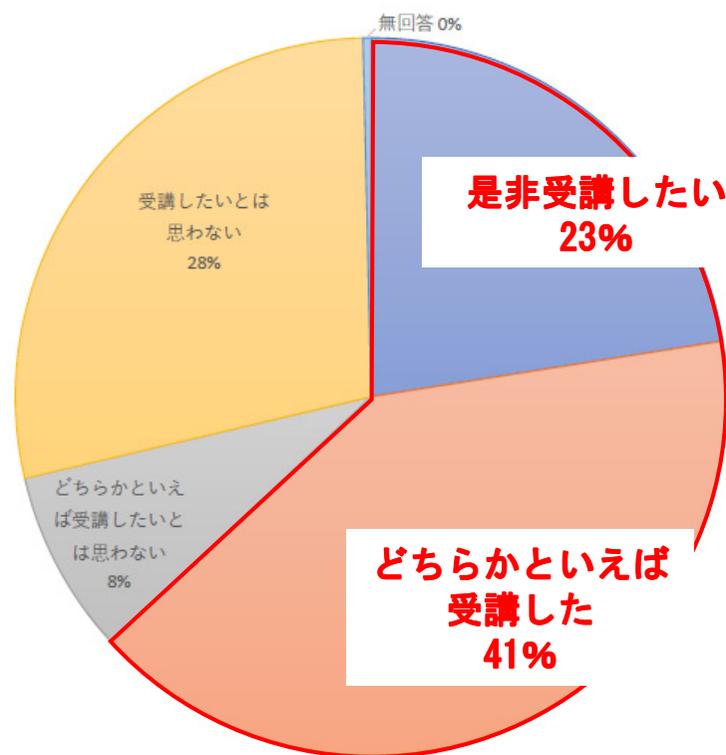


## (2) ニーズ調査結果

### □ アンケート結果

◆ 子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことできるプログラムへの受講意向が高い。

子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことできるプログラムへの受講意向



## (2) ニーズ調査結果

### □県内福祉団体等からのヒアリング結果（12団体約30人に対してヒアリング）

#### ○施設・遊具の整備

- ・ 大型ベッドのあるトイレ、介助者と一緒に入ることの出来るトイレは必要。
- ・ 音で遊ぶ遊具には、併せて光で遊ぶ機能もつけてほしい。
- ・ 突然、走り出したりして、遊具等にぶつかったり、転んだりする。そういった際に、怪我をしないように、素材等は柔らかいものを使ってほしい。
- ・ リハビリテーションセンターにある、障害の程度に応じて遊具等を組み替えて作る、スタートとゴールのあるサーキット活動（山あり、谷あり、平行棒等）の出来る場所を設けてほしい。
- ・ 充電が必要な医療機器も多数あるので、電気の取れる場所もあるとありがたい。
- ・ 子どもが遊んでいる間、親もくつろげる場所をつくってほしい。
- ・ 電光掲示板やフラッシュライト等で聴覚障害者にも情報が伝わるようにしてほしい。
- ・ ピクトグラム等を使用するなどわかりやすい案内が必要。
- ・ 車で行くことが基本となるので、障害のある子どもの遊ぶエリアは駐車場を近くに設けてほしい。

#### ○雨天時等でも遊べる場所

- ・ 温度調節が難しい子もいるので、屋内で遊ぶことの出来る施設があるとありがたい。
- ・ 自由に動き回る（走り回る）ことができる広い屋内施設がほしい。

## (2) ニーズ調査結果

### □県内福祉団体等からのヒアリング結果（12団体約30人に対してヒアリング）

#### ○交流する仕組み

- ・ 障害のある人とない人がともに交流が出来るような工夫をしてほしい。
- ・ 公園利用者同士が自然と声をかけあったり、一緒に遊んだりする環境づくりをするために、コーディネーターやプレーリーダーなどを配置してコミュニケーションを促す土壌づくりをしてほしい。
- ・ 公園の中で、ある程度のゾーン分けは必要と思うが、年齢や障害の有無等ではっきりとわけないでほしい。

#### ○自然の活用

- ・ 拡張予定区域にある既存の自由広場は残してもらいたい。
- ・ 土や自然に触れる場所が身近になく、木登りなんかも出来る場所があると良い。
- ・ 花を楽しむことの出来る空間があると良い。

### (3) ニーズ調査結果の整理

#### □アンケート調査結果と県内福祉団体等からのヒアリング結果の整理

	項目	内容
整備	①インクルーシブな施設・遊具等	施設・遊具の多様性が求められており、バリアフリーの基準を満たすだけではなく、アクセスも含めて、様々な人に配慮したインクルーシブな施設整備が求められている。また、大人もくつろいだり楽しめる場所が求められている。
	②雨天時等でも遊べる場所	屋内遊戯場や体育館といった雨天時等に遊べる場所は一定数あることから、そういった施設とは異なる雨天時等に遊べる場所が求められている。
運営	③交流を促す仕組み	プレイワーカーの配置やゾーニングの工夫等によって、健常者と障害者や障害者同士の交流が深まる仕組みが求められている。
	④幅広い内容の教室・プログラム	施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関するプログラム等が求められている。
その他	⑤自然の活用	木登りや泥遊び等、自然と触れあえることのできる場所やサービスに対してニーズがある。

## (4) 子どもの遊び場等に関する課題

□ニーズ調査等を踏まえた現状分析

◆ ニーズ調査等から求められる機能が、まほろば健康パーク利用圏域内では不足している状況。

公園管理者名	ニーズ調査等から求められる機能				
	①インクルーシブ機能	②雨天時等でも遊べる場所 (屋内遊戯場、屋内運動施設以外)	③交流を促す仕組み	④幅広い内容の教室・プログラム	⑤自然の活用
県管理の公園	×	△ 1箇所 (馬見丘陵公園)	×	×	×
市・町管理の公園 (街区公園除く)	△ 1箇所 (柏木公園)	△ 1箇所 (榎原運動公園)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 2箇所 (生駒山麓公園) (信貴山のどか村)
参考 (民間)	×	×	×	×	×

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。  
※本調査は、公園企画課による調べ。

○凡例  
○：3件以上  
△：3件未満

## (5) 課題に対する参考事例

### ① インクルーシブな施設・遊具等



○寝転べる広さがあり姿勢の保持が難しい子どもと一緒に楽しめる遊具(柏木公園(奈良県))  
出典:奈良市HP“公園 施設一覧”



○弾性のゴムチップを敷き詰め万が一転倒しても衝撃を吸収してくれる広場(西宇治公園(京都府))  
出典:地域NEWS号外NET宇治市・城陽市【宇治市】インクルーシブ遊具が登場!誰もが楽しく遊べる西宇治公園は小さなお子さんにも大人気です”



○車椅子でのぼれる傾斜の緩いスロープがある遊具(りんくうアイスパーク(大阪府))  
出典:泉佐野市HP おもてなし課NEWS“インクルーシブ遊具が新設されました”



○座った姿勢の維持が難しい子どもが落ちないようにハーネスのついた椅子型遊具(湖岸緑地(滋賀県))  
出典:びわ湖大津経済新聞“背もたれが大きくハーネスが付いているブランコ”